

第4回気象ビジネスフォーラム開催報告

気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)の1年間の活動を総括するイベントとして、令和2年2月4日(火)に東京都千代田区の一橋講堂において「第4回気象ビジネスフォーラム～気象データが拓く新たなビジネス～」を開催し、会員・非会員あわせて約400名の方にご参加いただきました。また、御法川 信英 国土交通副大臣、気象業務振興議員連盟会長の古屋 圭司 衆議院議員、末松 信介 参議院議員、大野 泰正 参議院議員、工藤 彰三 衆議院議員及び荒井 聡 衆議院議員にご来賓としてお越しいただき、足立敏之 参議院議員、猪口 邦子 参議院議員からも祝電にてお祝いの言葉を頂戴しました。

冒頭、WXBC会長の東京大学大学院情報学環 越塚 登 教授からの開会挨拶に続き、ご来賓の御法川国土交通副大臣及び古屋衆議院議員からご挨拶いただきました。



<越塚 WXBC 会長による開会挨拶>



<御法川国土交通副大臣によるご挨拶>



<古屋衆議院議員によるご挨拶>

フォーラムでは、気象データを活用したビジネス事例の紹介、気象ビジネスの展望に

関するトークセッションを行いました。併せて、気象、IT、製造業等の WXBC 会員によるブース展示を行いました。

気象データを活用したビジネス事例の紹介では、(株)鹿島建設様より「過去の事例解析と詳細気象情報を利用した熱中症アラート」と題して、熱中症発生リスクに対応するための働きやすい職場環境の実現をめざす取組について、(株)電通様より「マーケティング領域における気象データの可能性」と題して、気象に合わせて広告を出し商品の売れ行きをコントロールし、サプライチェーン全体を効率的にする取組などについて、東日本高速道路(株)様より「大雪や台風における『道路と気象』の情報提供」と題して、道路の通行止め予測情報を集約して提供することによる、注意喚起や交通障害による影響最小化を目指す取組などについて、東日本旅客鉄道(株)様より「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発と鉄道における自然災害対策」と題して、AIを活用した突風検知の取組などについて、それぞれご紹介いただきました。



< (株) 鹿島建設様 >



< (株) 電通様 >



< 東日本高速道路(株)様 >



< 東日本旅客鉄道(株)様 >

トークセッションでは、越塚 WXBC 会長をコーディネーターに、木本 WXBC 副会長、気象予報士・データサイエンティストでもありご夫婦でビジネスを手掛けておられる Weather Data Science の加藤芳樹様・加藤史葉様、株式会社電通の岸本渉様、気象庁の

加賀至次長の6名で、気象データ等との付き合い方をテーマに、気象データの特性や活用する人材のあり方等の気象ビジネスの展望について意見交換を行いました。



<トークセッションの様子>



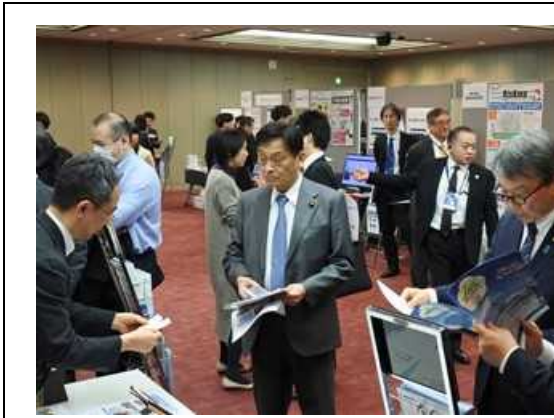
<Weather Data Scienceのお二人>

フォーラムでは、トークセッションと併せてブース展示を開催しました。ブース展示では34の企業等にポスターや製品の展示、サービス内容の説明等を行っていただき、さらに、参加者同士が情報交換をしやすいよう、マッチングスペースを設けました。

展示会場内では、多数の来場者と出展者が展示内容について熱心に意見交換を行っていました。また、御法川国土交通副大臣、気象振興議員連盟の皆様にも展示会場をご視察いただき、出展者に質問される場面もありました。



<説明を聞かれる古屋議員>



<説明を聞かれる末松議員>



<説明を聞かれる大野議員>



<説明を聞かれる工藤議員>



<説明を聞かれる荒井議員>

今後も、WXBCは、気象データの提供・利活用促進、気象データを扱える人材の育成支援、気象データを有効活用した既存ビジネスの効率化・新規ビジネスの創出支援等に積極的に取り組んでいきます。